

図書だより

令和5年度
No.3
甲佐高校図書室

★水無月★

酷暑で水も枯れ尽きる様子
指します。旧暦の6月は現在の7
月なので暑さは厳しいのです。



🌸新着図書からおすすめの本をご紹介します🌸

『花を見るように君を見る』 ナ・テジユ

詩人である著者の詩作のうちSNSを中心に支持を受けた作品をまとめた詩集。日本でも有名な俳優や、世界的アイドルグループのメンバーなどが本書を愛読している。

日々のこと、自然への眼差し、恋の詩(うた)などが、シンプルで素敵なイラストとともに心にスツと入ってきます。

『はるか、ブレイメン』 重松清／著

私を捨てた“お母さん”の走馬灯には、何が映っているのだろう。人生の思い出をめぐる、謎めいた旅行会社に誘われた16歳の少女のひとり夏物語。

小川春香、16歳。3歳で母に捨てられた彼女は、育ての親である祖母も亡くし、真正正銘のひとりぼっちだ。そんな彼女が出会ったのが走馬灯を描く旅をアテンドする「ブレイメン・ツアー」だった。

『よみぐすり』 坂口恭平

自分の携帯番号を公開して、寝ている時以外はずっと、死にたい人からの電話を受けている著者。

死にたい人からの電話を受けた後、たびたびTwitterでどうすれば死なずに済むかということを書き、膨大に書き残した中から、厳選してまとめられた言葉が本になりました。

少しでも気持ち楽になりたい人に、おすすめします。



映画の上映案内です

人吉出身の内村光良さんが監督を務める短編映画「夏空ダンス」が6月30日から熊本イオンシネマで2週間限定公開されます。

今も復興途中の故郷、熊本・人吉を舞台に、ダンスで夢を叶えようとする高校生たちの姿を描いています。



4、5月の貸出ランキングトップ10

わたしの幸せな結婚[1]

僕の涙がいつか桜の雨になる

僕の永遠を全部あげる

はたらく細胞01

今夜、世界からこの恋が消えても

時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん[1]

リエゾン - こどものこころ診療所 - 11、12

今夜、きみの声が聴こえる[1]、[2]



『植物図鑑』
有川浩／作



←図書室にあります

普段私たちが何気なく見ている道に生えた草。その草にも実は名前があります。ある日、道ばたに落ちていた男を拾ったさやか。イツキと名乗る彼。それからイツキに名も知らない草について教えてもらう日々。最初は単なる同居人だったが、だんだんと別の感情が湧いてきてしまう。どうすればいいか悩んでいる時にあることが起きて…。映画化された素敵な作品です。是非手に取ってみてください。